

## 被災地でのボランティア活動について（心構え）

被災地におけるボランティア活動への参加を考えている学生諸君は、自己の責任の下に活動し、地元の方々に負担をかけないことが大前提であることを心してください。

ボランティアセンターなどの団体に所属して活動を行うなど、計画性、安全性に留意して、活動してください。

また、ボランティア活動の際は、支援を求める被災地の方々のニーズと支援を行う側との“思いのすれ違い”が生じることのないよう十分注意してください。

以下に、被災地の復旧支援などボランティア活動における留意点をまとめましたので、確認のうえボランティア活動を行ってください。

### ○ボランティア活動を行う際の留意点

(1) **ボランティア保険に必ず加入**すること。

保険の加入手続きは、現地へ赴く前に、「社会福祉協議会」で行うこと。  
保険の内容を加入時点で確認しておくこと。

\* 下関市社会福祉協議会（下関市貴船町）

<http://www.shimoshakyo.or.jp/>

(2) 被災地に入る前に、被災地への往復の交通手段等の確な**情報収集**及び安全情報の確認を行うこと。

(3) 被災地の社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに問い合わせ、ボランティア活動に対する心構えと**十分な準備**を行うこと。

携行品：飲料水、食料、軍手、タオル、除菌ウエットティッシュなど

(4) **健康管理・安全衛生は自己責任**。万全の体調で活動すること。

万が一のケガに備えて、健康保険証は忘れずに携行すること。

(5) 被災地からの保護者及び本校への**連絡方法を確保**しておくこと。

(6) 現地のボランティアセンターに**活動登録**をし、指示に従うこと。

単独行動はしないこと。作業の負担が重いと感じたら、無責任にならないよう、はっきり断る勇気も必要。

(7) ボランティア活動に赴く際は、**事前に「学生生活課」へ届出**することが望ましい。

(8) 帰ったら、ゆっくり休養すること。心身の不調を感じたら、一人で抱えず、ためらわずに相談すること。

以上